

園長だより

No. 18

2024年9月13日

園長 澄川忠男

暦の上では「秋」ですが、最近は、ますます暑くなっているような気がします。運動会の練習が始まりましたが、熱中症にならないように気を付けながら練習をしています。子どもたちはたくさん汗をかきますので、着替えなどのご用意をお願いすることもあるかと思えます。よろしくお願いいたします。

◆幼稚園以外の方々とのおふれあい

一昨日、昨日と、さくら組の子どもたちは、我々教職員と過ごすだけでなく、ほかの方々と触れ合う時間がありました。

一昨日はテレビ局のクルーとのふれあいです。一人ひとりが自分の夢を発表した後、テレビ局の方にアドリブで質問されます。夢を言うところまでは練習できるのですが、アドリブの質問に自分で答えなければなりません。

さっと答える子、もじもじする子、小さな声で答える子、一瞬固まる子・・・いろいろですが、きっとドキドキしたことでしょう。

昨日は、付属高校保育コースのお姉ちゃんやお兄ちゃんが企画運営した「敬老会」に参加しました。高校生、お年寄りの方々、高校や短大の先生方など、日ごろ一緒に過ごしていない方々と同じテーブルで会話をしたり折り紙を折ったりしました。話しかけられた時、笑顔で返せる子、緊張する子・・・いろいろです。

子どもたちにとってこのような経験は必要だと考えています。これから先、子どもたちは年齢を重ねるにつれ、家族だけの世界から、親せきなどの世界、保育園や幼稚園の世界、小学校や中学校など学校の世界、そして、知らない世界に飛び出して自分の力で生きていくことになります。そのために少しずついろいろな方々とのふれあいの経験をしていくことが大切だと思えます。

周りの大人が助け舟を出すことや代わりに受け答えする事は簡単かもしれませんが、ドキドキの経験、どうしようと自分の頭をフル回転する経験、やってみようかなとチャレンジする経験、様々な経験で子どもたちは成長するので、その機会を奪わないように、周りの大人は、子どもたちの経験のために少し我慢して待つ時間が必要ですね。

つぼみ・たんぽぽ・うめ・もも組の子どもたちも、成長するにつれどんどん世界が広がっていきます。ドキドキワクワクしますね。

